

「真珠のようにきらり輝く鳥羽」をめざし〜

平成25年度の当初予算をお知らせします

総額 174億7,680万円



平成25年度の当初予算が第1回定例市議会で可決されましたのでお知らせします。

本年度は、市長の任期満了に伴う市長選挙が予定されているため、一般会計は骨格予算とし、投資的経費などの政策経費は市長選挙後の6月補正予算で調整することから、前年度に比べ13.1%減の92億9,400万円となっています。また、国民健康保険事業などの5つの特別会計および水道事業会計の総額は、81億8,280万円となり、合わせて総額174億7,680万円となります。

歳入予算は、基幹財源である市税において、前年度と同水準の税収が見込まれるものの、国・県の補助金・負担金などやその他歳入については、骨格予算として政策的な事業を6月補正に委ねることに伴い、大きく減額しています。また、歳出予算では、医療費の助成や生活保護などの扶助費、施設の建設・整備に伴い国や銀行から借り入れた市債の償還金が依然として高い水準で推移しています。

一般会計予算の概要

平成25年度 鳥羽市予算

| 会計区分 | | 予算額 |
|------|---------------|-------------|
| 一般会計 | | 92億9,400万円 |
| 特別会計 | 国民健康保険事業 | 31億9,630万円 |
| | 介護保険事業 | 22億4,400万円 |
| | 定期航路事業 | 5億7,500万円 |
| | 特定環境保全公共下水道事業 | 1億5,070万円 |
| | 後期高齢者医療事業 | 4億6,160万円 |
| | 小計 | 66億2,760万円 |
| 企業会計 | 水道事業 | 15億5,520万円 |
| 合計 | | 174億7,680万円 |

骨格予算って何？

骨格予算とは、法律などにより支出が義務付けられている経費や、市民サービスの維持向上に必要な経費のほか、年度当初より事務執行が必要な経費など必要最低限の経費だけを盛り込んだ予算をいいます。

新規事業や政策的な経費などは、市長選挙後の6月補正予算において編成します。

当初予算に計上した主な事業

めざす
まちの姿

「学びたい・働きたい・住み続けたいという思いが育つまち」

●鳥羽への定住応援事業 1,519万円

市内に新たに住宅を取得した40歳以下の若者や若者夫婦を応援するため、奨励金を交付することにより、地域の活性化を図ります。

●保育所施設整備事業 8,347万3千円

老朽化した安楽島保育所を高台へ移転するために用地造成工事を行い、子どもたちの安全で安心な環境づくりに努めます。



●子育て支援事業 715万8千円

子育て関連用品が購入できる「とばっ子子育て応援券」の交付や、18歳以下の子どもを育てている世帯に「とばっ子カード」を発行するほか、育児負担軽減を目的とした講座を開催するなど、子育て支援の充実を図ります。



●高校生修学支援事業 1,148万4千円

本土および離島の高校生の通学費、または離島の高校生の下宿代などに対して、その費用の一部を助成します。

めざす
まちの姿

「鳥羽ファンと市民が幸せをわかちあうまち」

●漁港整備事業 3,156万6千円

各漁港施設の改良・整備を行い、施設の機能向上を図ります。

●文化財保護事業 1,423万4千円

鳥羽城跡の調査として、本丸内の遺構の発掘調査と周辺の石垣測量調査を行うほか、平成24年度に完成した鳥羽大庄屋かどや（旧広野家住宅）の指定管理を行い、歴史文化の学びの場、また地域の交流および観光拠点として活用します。



●遷宮対策事業 3,255万3千円

伊勢神宮の式年遷宮に向けて、鳥羽の魅力ある資源を生かした周遊滞在型の観光地づくりを行うほか、PR活動などの情報発信を行います。

●イルミネーション整備事業 999万6千円

鳥羽駅周辺から佐田浜沿岸部にかけてイルミネーションを整備し、夜間における観光地としての魅力向上を図ります。



めざす
まちの姿

「自然と調和した営みが広がるまち」

● 森と海・きずな事業 1,245万3千円

森林の持つ本来の機能を回復させ、下流において豊かな海を育むため、生産林・環境林の整備を引き続き実施するとともに、資源の有効活用を図る上で、間伐材の利活用を促進します。



● 地方道路整備事業 6,004万4千円

事業計画に基づき、屋内町の黒田団地幹線1号および2号の測量設計を行うほか、安楽島町から船津町にかけて保育所施設などの整備に伴う市道東中学校線の改築工事を行い、道路環境の充実と安全を図ります。

● 地域交通事業 7,549万2千円

車などで移動できないかたの移動手段を確保するため、「かもめバス」を運行します。

めざす
まちの姿

「生きがいや安心をみんなで作るまち」

● 高齢者外出支援事業 1,480万2千円

70歳以上のかたに「いきいきお出かけ券」を配布し、市営定期船やかもめバスのほか、新たに近鉄電車を利用したときの運賃助成を行うほか、地域を限定しての福祉車両の試験運行など、高齢者の外出機会を増やし、より多くの社会参加の促進や健康増進を図ります。

● 防災対策事業 2,725万6千円

災害に強いまちづくりを進めるため、海拔表示の設置、家具転倒防止器具の支給・取り付けを行うほか、自治会・町内会が行う津波避難路の整備に対し支援などを行います。

● 予防接種事業 5,720万9千円

子どもの定期予防接種にかかる費用の公費負担を行うほか、65歳以上のかたにインフルエンザや肺炎球菌の予防接種費用を助成し、健康の保持・増進を図ります。

● へき地医療対策事業 3億7,657万3千円

へき地の市立診療所において、医療機器などを整備することにより、安心して受診できる医療体制の充実を図ります。

めざす
まちの姿

「無駄なく効果の高い行政経営が進むまち」

● 行政放送事業 1,635万7千円

ケーブルテレビにより行政情報発信番組を制作し、市政情報や市民への身近な行政情報を放送します。また、三重テレビ放送の第1チャンネルで市の防災や観光などの地域情報発信番組を制作し、東海3県で放送します。

